

顔の見える総合相談・支援事業

令和5年度
各小学校区の取り組み推進状況

【令和5年度 各小学校区における取り組み推進状況一覧】

各小学校区、地域のニーズを踏まえた課題解決の取り組みが進んでいます。令和5年度は第3期箕面市地域福祉活動計画（R4～R8の5か年計画）の計画期間2年目であり、令和4年度から検討していた取り組みが実現したり、令和4年度に始まった取り組みが発展し、次の展開につながった活動もありました。

各小学校区の令和5年度の取り組み状況を「実施」「継続」「発展」「検討中」「難航」の5つに分けてまとめました。

- 「実施」 … 令和5年度に新たに立ち上がった取り組み
- 「継続」 … 令和4年度以前から継続して取り組んでいる校区の重点的な取り組み
- 「発展」 … 令和4年度以前からの取り組みで、令和5年度に発展した取り組み
- 「検討中」 … 実現に向けて検討中や準備段階の取り組み
- 「難航」 … 検討するも、実現には課題があり行き詰まっている取り組み

| 校区 | 状況 | 取り組み内容 | ページ |
|------|-----|--|-----|
| 彩都の丘 | 検討中 | ◆子どもを中心とした取り組み | 3 |
| | 実施 | ◆高齢者のつながる場づくり | |
| | 難航 | ◆地域活動を知ってもらうために（校区情報の一元化） ◆地域活動の担い手を増やす | |
| 豊川北 | 実施 | ◆勝尾寺川さんぽグループが活動開始 ◆粟生みんなの居場所カフェの開始 | 5 |
| | 検討中 | ◆自治会館・空き家等を活用した集いの場の開催 | |
| | 難航 | ◆ご近所での生活支援、移送支援サービスの立ち上げ | |
| 東 | 実施 | ◆「公園で粟生～よ！」開催 ◆東小放課後プログラム「アフスク」がスタート ◆コミセンお茶会の開催 ◆マンション座談会の開催 ◆箕面東高校×豊川住宅自治会×箕川水と緑の会 合同清掃 | 7 |
| 豊川南 | 発展 | ◆子ども食堂を通して、つながりをつくる ◆ご近所サロンは多世代の居場所に | 9 |
| | 実施 | ◆SOSが出しやすい仕組み 【大阪信用金庫で出張相談会】 ◆団体の具体的な連携 【地域団体意見交換会の開催】、 【萱野東小地区福祉会、四中PTAとの連携】 | |
| | 検討中 | ◆防災は、ご近所つながり | |

| 校区 | 状況 | 取り組み内容 | ページ |
|------|-----|---|-----|
| 萱野東 | 継続 | ◆小地域ささえあい会議（船場東エリア） ◆防災について～地域と施設の連携～ | 11 |
| | 実施 | ◆団体の具体的な連携 【子育て支援団体情報共有会議】 【豊川南小地区福祉会、四中PTAとの連携】 ◆地域に交流の場が増えた！ 【住民交流の場】、【認知症をテーマにカフェを開催】 ◆新たな助け合いのしくみ 【白鳥荘の夕食配達】 | |
| 萱野北 | 発展 | ◆コミュニティカフェ「ささえカフェ」が充実 | 13 |
| | 実施 | ◆地区防災委員会が防災意識向上を目指す取り組みを実施 | |
| | 検討中 | ◆認知症への理解推進に向けた取り組み | |
| 萱野 | 発展 | ◆高齢者のつながりづくり ◆地域の交流の場づくり | 15 |
| | 実施 | ◆第二中学校生徒による朝ごはんプロジェクト | |
| | 継続 | ◆自治会の交流の場をつくる ◆防災を意識した取り組み | |
| 北 | 発展 | ◆高齢者を守れ！ | 17 |
| | 継続 | ◆ご近所での気かけ合う関係づくり | |
| | 検討中 | ◆子どもとのふれあい（放課後の居場所づくり） | |
| 中 | 継続 | ◆中小校区まちづくりプロジェクト | 19 |
| | 実施 | ◆子どもを中心としたみんなの居場所「いろは食堂」オープン ◆畑でつながる多世代の居場所「稲つながり畑」発進 ◆避難所に泊ってみよう！「中小学校避難所体験」開催 ◆子ども服リユース会の開催 | |
| 箕面 | 実施 | ◆地域でつながれる居場所づくり | 21 |
| | 検討中 | ◆高齢者を中心とした居場所づくり ◆子どもの居場所づくり | |
| | 発展 | ◆障害者事業所との協働 | |
| 西 | 実施 | ◆楽しく集える居場所「ほっこりカフェ」の開催 ◆子どもが定期的に集まれる居場所の開催 ◆マンション内で住民の交流の場の開催 ◆シニア講座の開催 ◆福祉会だよりで多団体の情報共有 | 23 |
| | | 継続 | |
| 南 | 継続 | ◆誰もが気軽に寄れる集いの場をつくろう | 25 |
| | 検討中 | ◆災害への備え ◆高齢者の安否確認と見守り | |
| 西南 | 実施 | ◆西南小校区の地域団体連携会議が発足 ◆西南地域みんな食堂が誕生 ◆だれもが気軽に寄れる憩いの場所 ◆災害への備え | 27 |
| 止々呂美 | 実施 | ◆高齢者の居場所「ほっとサロン」を毎週開催 | 29 |
| | 継続 | ◆子ども・子育て世帯の居場所づくり ◆多世代の居場所「森町カフェ」 | |

次ページから、校区ごとの令和5年度の取り組みについて、その経過や内容をまとめました。

■■■ 彩都の丘小校区 ■■■

彩都は2007年（平成19年）にグランドオープン。現在人口6,000人で15歳未満37%、15～64歳60%、65歳以上4%と子どもや現役世代が中心。校区内に店舗や事業所がほとんどないことも特徴。校区の課題としては、工事車両の行き来、夜間の車両通行による騒音、動物出没等の安全面や子どもの支援が中心となっている。そのため、この校区では、「子ども」と「地域活動の担い手」の2テーマでの取り組みを検討している。

子どもを中心とした取り組み

取り組み
検討中
【基本目標1】
(2)-1

【令和4年度】

- ・有償ボランティアやボランティアポイントの検討
- ・保育園等の警備業務退職者に地域の見守りをしてもらう仕組みの導入
⇒検討したが、世話役や謝礼の支払いなどの仕組みづくりが難しい状況。
⇒PTA アンケートで見守りボランティアに参加しても良いという人もいたので、まずは登下校の見守りをできる人を増やしていく。

【令和5年度】

●防犯委員会彩都栗生支部の立ち上げ

- ・これまで豊川北小校区と一緒に活動してきましたが、彩都で独立した防犯委員会が立ち上がりました。
- ・自治会からも防犯委員として参加
- ・登下校の見守りの調整をしている
- ・夏休みや年末の夜回りを実施



●夏休み期間に、自習室を開放

- ・毎週月曜日の「彩カフェ」の時間に、コミセンの保育ルームを自習室として開放。
- ・息抜きに、自習室に参加した小学生と「彩カフェ」のメンバーでトランプなどをした。
(多世代交流、顔の見える関係づくり)



●子ども食堂をオープン！（令和6年3月24日プレスタート）

(目的) 心の貧困対策として、心が豊かになるような人との出会い、つながりを作る

(背景) 彩都の大半が分譲地であり、困窮世帯はほとんどいないが、自尊心が低い子が多いという特徴がある。共働き世帯も多く、親子の時間が少ないのかも。

- ・まずは、茨木市側の彩都と一緒に子ども食堂を実施。
- ・並行して、箕面市でも開催できる「場所」や、一緒に活動する人を探す。



取り組み
難航
【基本目標1】
(4)-1

地域活動を知ってもらうために（校区情報の一元化）

【令和4年度ささえあい推進会議での意見】

- ・活動の担い手発掘には、まずは活動を多くの人に知ってもらうことが大切
- 地域団体の活動や彩都の情報が一元的にわかるホームページや広報誌の作成
 (課題)
 - ・広報媒体の制作・編集は？＝誰が（どこの団体が）するのか。
 - ・各団体の情報のとりまとめは？⇒どこの団体が担う（担える）のか。
 - ・財源は？＝どこがどのように出し合うのか。

【令和5年度ささえあい推進会議での意見】

- ・里山保全など、校区内のボランティア活動を紹介したい。
- ・校区の情報が網羅されている広報は必要。



※校区内情報を発信できる広報について、今後も継続して検討していく。

高齢者のつながる場づくり

取り組み
実施
【基本目標1】
(2)-2

【令和5年度 新規開設】

●エルグレース de 彩カフェ

- ・コミュニティセンターでささえあいステーションの時間に「彩カフェ」をしているが、コミュニティセンターが遠い地域の人もいるという意見から、エルグレース集会所で開催。
- ・「みんなで認知症を知ろう」をテーマに開催。
- ・開催日は、東部高齢者くらしサポートの職員2名が毎回参加。認知症のことなどのミニ講話と、健康体操などを行っている。



地域活動の担い手を増やす

取り組み
難航
【基本目標1】
(2)-1

【令和4年度】

自治会の悩みから地域で行うイベントのことまで幅広い意見あり。「楽しいこと」、「過度の負担にならないこと」をキーワードに、住民が顔を合わせる機会を作ると良いとの意見が出た。

【令和5年度ささえあい推進会議での意見】

- ・なかなか新しい活動者が増えないのが悩み。
- ・地域活動のことをもっと知ってもらう工夫が必要かも⇒今後、検討していく。
- ・継続して活動を行う中で賛同者や協力者を増やしていく。

■■■ 豊川北小校区 ■■■

豊川北小校区は人口約9,200人、65歳以上が29.1%。校区内には急峻な坂が多く、買い物や通院等のための移動に困難を感じる高齢者が増えている。西部から東部に向かって勝尾寺川が流れ、川に沿うように田畑が多く存在、中心部にも田畑が多く自然が豊かな校区。

勝尾寺川さんぽグループが活動開始

取り組み実施
【基本目標1】
(2)-1

【「栗生彩まるつど広場※」に協力した参加者の声】

・ボランティアスタッフから「この住民のパワーで勝尾寺川周辺を盛り上げたい」との声が上がる。

※「栗生彩まるつど広場」…令和4年11月、間谷堂ノ前公園を活用した地域交流イベント

●「勝尾寺川さんぽグループ」を組織（令和5年3月）

有志で集まり話し合い、まずは勝尾寺川周辺の下見を兼ねたプレウォークを実施することに。

● 勝尾寺川プレウォーク（令和5年5月）

グループメンバー（と子ども達）で勝尾寺川沿いを歩くフィールドワーク。実施後、話し合いを重ね、西田橋近くの河原を活用した川遊びイベントを企画。



●「河原で遊ぼう！さわって学ぼう！もっと知りたい・勝尾寺川」開催（令和5年8月）

大人9名、子ども15名、ボランティア18名が参加。河原に生息する動植物の観察や水遊び、竹水鉄砲遊び、スイカ割りなどを実施。会場でグループワークも行い、「川のこと今後話し合う機会があればまた参加したい」との声もあった。「勝尾寺川沿いが遊歩道になること」を目標としているグループメンバーもあり、その実現のためにも、活動に賛同する新たな住民に参画してもらうことが今後の課題。

「粟生みんなの居場所カフェ」の開始

取り組み実施
【基本目標1】
(2)-1

【勝尾寺川プレウォーク(令和5年5月)の参加者より】

「豊川北小校区に、放課後の子どもたちが過ごせる児童館をつくりたい」と、参加者の発案あり。関心のある住民数名で話し合う。当初の相手から形を変え、子どもでも大人でも、一緒に過ごし交流できる場の実現を目指すことに。



● 「粟生みんなの居場所カフェ」の開始(令和5年7月)

- ・毎週月曜日の午後に開所している「ささえあいステーション」に併設のカフェ。未就学児の親子や高齢者のグループなどが幅広い年代の住民が気軽に立ち寄れる場所。時季によりクリスマス会などのミニ企画も実施。

自治会館・空き家等を活用した集いの場の開催

取り組み
検討中
【基本目標1】
(2)-1

【令和4年度ささえあい推進会議(令和4年6月)での意見・アイデア】

コロナ禍によりサロン等のつどいの場の開催が困難なエリアから意見が出た。

- ・自治会館や地域の空き家を活用しての開催

● 東山住宅自治会で、コミュニティカフェの立ち上げを検討中

- ・休止していたサロンの再開ではなく、カフェ形式での実施を検討中。

ご近所での生活支援、移送支援サービスの立ち上げ

取り組み難航
【基本目標1】
(3)-3

【令和4年度ささえあい推進会議(令和4年6月)での意見・アイデア】

- ・住民同士の生活支援サービスや移送支援サービスを立ち上げる

間谷住宅の「MJ ちょっとサービス会」と同様のサービスを他エリアでも行う

● 利用のニーズは高いと思われるが、提供する側のマンパワーが不足している

課題

- ・立ち上げ意欲のある地域のリーダーが不在
- ・調整役(コーディネーター)が不在
- ・エリア内の住民同士が課題意識をもつことが必要

【令和5年度ささえあい推進会議 WAO での意見・アイデア】

- ・高齢者の移送や生活支援の困りごとをテーマに話し合いの場を設ける
- ・令和6年度から2年間「AI オンデマンド交通実証運行」を行うと市長より情報提供あり

■■■ 東小校区 ■■■

東小校区は人口約 10,500 人、65 歳以上が 34.3%。高齢化率は箕面市では首位。北に行くにつれて坂道が多く、急になる。北部・南東部および南西部には、箕面栗生第 1・第 3・第 4・第 5・第 6・第 7 住宅等の大型の集合住宅がある。戸建て住宅も中心部に多く存在している校区。

「公園で栗生～よ！」開催

取り組み実施
【基本目標 1】
(2)-1

【令和 4 年度ささえあい推進会議（令和 4 年 7 月）での意見・アイデア】

- ・遊びや勉強を教える「公園寺子屋プログラム」を実施、多世代が交流できる居場所にする。



●関係者の話し合い・プレ開催（令和 5 年 2 月、3 月、4 月、5 月、7 月、プレ開催 6 月）

- ・有志プロジェクトチームで協議。多彩な内容のイベントとし、名称を「公園で栗生～よ！」に。
- ・栗生南公園を会場としてプレ開催。射的とペタングを実施。
- ・本開催時には、「東わいわい食堂」開催日に併せて隣同士で実施することを決める。



●第 1 回「公園で栗生～よ！」開催（令和 5 年 7 月）

ミニバザー、射的、キャロム（ゲーム）等を提供。多数の親子連れが参加。

➔以降も継続して開催（令和 5 年 8 月、9 月、10 月、11 月）

- ・毎回少しずつ内容を変え実施。カフェブースや相談ブースも提供。「栗生ぞらまつり」にも出展。
- ・今後は地域の個人・団体がつどうプラットフォーム化を目指す。次回は 3 月開催予定。



東小放課後プログラム「アフスク」がスタート

取り組み実施
【基本目標 1】
(2)-1

【令和 4 年度ささえあい推進会議（令和 4 年 7 月）での意見・アイデア】

- ・地域住民が子どもに色々な内容を教える放課後プログラムを立ち上げる



●プレ開催から本開催へ（令和 4 年 12 月、2 月）

プレ開催として東小の児童を対象にドッジビーのプログラムを実施。以降、正式に立ち上がり、2 月にキンボールを実施。現在は地域団体の参加が増え、箕面東コミュニティスポーツクラブやボランティアグループ（おはなし会 しいの実、グランメール）が実施に協力している。

コミセンお茶会の開催

取り組み実施
【基本目標1】
(2)-1

箕面市東部の外国人住民の生活上の困りごとについて話し合っていた際に、「談話室を開放するので外国人住民と地域住民とのお茶会をしてはどうか」とコミュニティセンター管理運営委員会より提案あり。



- コミセンを活用したお茶会を実施（令和5年5月、7月）
 - ・ 地域で生活する外国人と、地域の住民とが集まるお茶会を実施
 - ・ 5月はアメリカ人・中国人、7月はセネガル出身の住民が参加
 - ・ お互いの国の文化や料理、趣味等についておしゃべりを楽しむ



マンション座談会の開催

取り組み実施
【基本目標1】
(3)-2

【令和4年度ささえあい推進会議（令和4年7月）での意見・アイデア】
集合住宅同士が課題を共有し、意見交換ができる横のつながりをつくる

- 団体課題をもつマンションの管理組合や自治会へ社協職員がヒアリング
 - ・ 運営に課題を感じている自治会
 - ・ 住民同士のゴミ出し支援や交流会を実施している自治会
 - ・ 他の集合住宅の活動について知りたい自治会 など



- マンション座談会開催（令和5年3月）
 - ・ 4つの自治会から会長および役員が参加。各自治会の取り組みの共有や、高齢化が進む住民同士の把握や交流、AEDの設置方法などについて意見交換を行う。
 - ・ 令和6年3月に第2回の開催を目指す。

箕面東高校×豊川住宅自治会×箕川水と緑の会 合同清掃

取り組み実施
【基本目標1】
(3)-3

箕面東高校と豊川住宅自治会が協力して合同清掃を実施（令和4年12月）
高齢化により落ち葉掃除が大変な自治会。公園と住宅街を高校生と一緒に清掃。



- 令和5年度は「箕川水と緑の会」が加わり、川の清掃活動も協力して実施予定
 - ・ 自治会長のアイデアにより、令和5年度は川の清掃も併せて検討
 - ・ 令和6年1月実施予定も、雨天のため、3月に延期して実施予定

■■■ 豊川南小校区 ■■■

豊川南小校区は、人口 13,630 人で 15 歳未満 14%、15～64 歳 67%、65 歳以上 19%で、現役世代が中心だが徐々に高齢化が進んできている。綺麗な街並みで子育て世代を中心に人気の校区。校区内に国際交流協会があり、外国人市民が 800 人以上（市内トップ）居住。自治会加入率は市内ワースト 1 で 30%を切っている。地域活動は青少年を守る会や地区福祉会、シニアクラブなどの活動が活発であり、地域団体同士の横のつながりもある。

子ども食堂を通して、つながりをつくる

取り組み発展
【基本目標1】
(2)-1

【あいあい子ども食堂】 令和4年7月～

平日の夕食提供（月 1 回）に加え、春休み・夏休みは昼食と遊び場を提供。毎回 100 人を超える盛況ぶり。ボランティアスタッフは、子育てがひと段落した世代のほか、高校生や大学生の参加も増えている。遊び場は、読み聞かせボランティア「おはなし会」が担当。米や野菜は地元農家からの提供で、子ども食堂に「地域の力」が集まっている。



また、地元農家からの寄付（お米）を活用し、「フードパントリー」（ひとり親世帯対象）を実施。ひとり親世帯と子ども食堂がつながるきっかけづくりを試みている。

ご近所サロンは多世代の居場所に

取り組み発展
【基本目標1】
(2)-1

【取り組み発展】

①ささえあいステーション併設のあいあいカフェ(週1回)

地域活動者が集うことで、コミュニケーションが活発になった。特に地区福祉会と民生委員・児童委員の連携が進んだ。夕方になると小学生が多く集まり子どもたちの居場所になっている。近所の高齢者と、小学生の交流の場になっている。

②おのはらサロン(月2回)

普段は高齢者が健康麻雀やポッチャなどを楽しむ場であり、長期休み中は子ども向けのイベント（ミニ夏祭りやクリスマス会）を開催。多世代の居場所になっている。



【課題: 高齢者が増えているが、つながりが薄いエリア】

- ①小野原住宅地集会所でご近所サロン（スマイルカフェ）を開催しても、近所の高齢者はほとんど参加しない。
- ②小野原東は、井戸端会議もなく希薄化しているエリアもある。
⇒令和 6 年 4 月～多世代地域交流センターでもささえあいステーションを開所する予定。

取り組み
検討中
【基本目標1】
(5)-2

防災は、 ご近所のつながり

【障害者の防災について】

身体障害者福祉会、地区防災委員会、地区福祉会、市で話し合いをした結果、市が避難所運営マニュアル（障害特性対応版）を作成！

【自治会の防災取り組み】

- ・小金尾自治会は、防災ステーション（北の杜公園）で、「防災フェスタ」を開催。
- ・コープ野村北千里自治会は、独自の「防災マニュアル」を作成。安否確認方法等盛り込んでいる。



★令和5年度ささえあい推進会議では、「団体間の連携」や「障害者や高齢者、保育園など災害弱者が話し合いの場に参加する意義」、「各自治会の取り組みを共有する場の必要性」について意見が出た。

SOS が出しやすい仕組み

【大阪信用金庫で出張相談会】

「地域に貢献したい！」と信用金庫からささえあいステーションに相談があったことをきっかけに始まった取り組み。すでに他校区で実施している出張相談会を参考に、高齢者の来店が多い「年金支給日」に高齢者くらしサポート職員が出張相談会を開催！

（令和5年度計5回開催）



取り組み
実施
【基本目標2】
(1)-3

取り組み
実施

【基本目標3】
(2)-1

団体の具体的な連携

【地域団体意見交換会の開催】

令和5年度 計4回

メンバー：福祉会、青少年を守る会、シニアクラブ、民生委員、主任児童委員、地区防災委員会、コミセン、こども会、PTA、保護司

第1回：問題意識の共有

第2回：箕面市の地域一括交付金廃止について共有、各団体で協力し合える行事について検討

第3回：地域団体共同の広報紙作成について検討

第4回：次年度各団体の年間スケジュールについて共有、地域団体共同の広報紙作成について検討



地域団体共同の広報紙を現在作成中
（令和6年6月発行予定）

取り組み
実施

【基本目標1】
(3)-3

【萱野東小地区福祉会、 四中 PTA との連携】

「中学校の制服が自宅に眠っている。おさがりとして活用してもらいたい」地域住民からの声があったことをきっかけに、萱野東小地区福祉会とも連携して始まった“中学校学生服のおさがり会”。

制服の回収はあいあいカフェ開催中に行い、配布は中学校文化祭のときに実施。

毎年多くの人参加している。

（令和4年度、
令和5年度
計2回開催）



■ ■ ■ 萱野東小校区 ■ ■ ■

萱野東小校区は、南北に広く市内で一番面積が大きい校区。人口は市内トップの13,823人で15歳未満14%、15～64歳62%、65歳以上24%で現役世代が中心。昔ながらの村が5地区（白島、石丸、外院、西宿、今宮）あり、高齢化により行事等の担い手不足に悩みを抱えている。北大阪急行線延伸に伴い開発が進む船場東エリアでは今後若い世代を中心に人口が増加する見込み。そのため今後の地域活動は村と新興住宅地、新しく転居してきた人をどうつないでいくかが、大きな課題となっている。

小地域ささえあい会議（船場東エリア）

取り組み継続
【基本目標1】
(3)-2

萱野東は校区が広く、課題も地域差が大きいため、令和3年度から概ね7つの高齢者サロン開催エリアで「小地域ささえあい会議」を開催。

令和5年度は、船場東エリアでの会議を実施（12月17日）。

＜参加者＞地区福祉会、民生委員・児童委員、シニアクラブ、MerryTime（子育て支援団体）、シティゲートタワー千里中央自治会、セーリオ千里中央グラントレンザ自治会、セラフィーコートマンション管理組合、ブリッジコートマンション管理組合、ささえあいステーション 計14名

＜内 容＞・地域の活動について紹介
・各自治会、マンションの現状、課題共有

＜課 題＞・船場東エリアは避難所まで遠すぎる。
・心配な高齢者も増えているが、サロンなどの集いの場に参加しない人が多い。

会議を開催することで

「民生委員・児童委員と、マンション住民のつながり」と、「マンション同士の横のつながり」ができた。
上記課題を解決するには、継続した話し合いの場が必要。

**取り組み
実施**

【基本目標1】
(3)-1

団体の具体的な連携

【子育て支援団体情報共有会議】

校区が広く、子育て支援団体が多くあるが互いの活動を知らなかったり、一般の人にも知られていないため、情報紙を作成！

校区版の
子育て応援
マップを発行



**取り組み
実施**

【基本目標1】
(3)-3

【豊川南小地区福祉会、四中PTAとの連携】

「制服が高くてしんどい家庭がある」
小学校から地域に相談があったことをきっかけに始まった“中学校学生服のおさがり会”。制服の回収はささえあいステーション開所時に行い、配布は中学校文化祭で実施。

毎年多くの人に参加している。

（令和4年度、令和5年度
計2回開催）



取り組み
実施

【基本目標1】
(2)-1

地域に交流の場が増えた！

住民交流の場

【コミュニティカフェ 3カ所】

- ①「西宿憩いカフェ」
- ②「白島支えあいカフェ」
- ③「れんげカフェ」(ささえあいステーション併設)

【マンション集会所を活用したサロン2カ所】

- ①メゾン箕面青松園前自治会でのカフェ
- ②シティゲートタワー千里中央自治会でのサロン



令和5年度ささえあい推進会議では…
藤和箕面ホームズマンション集会所でのサロン立ち上げについて話題にあがった。今後、民生委員・児童委員、地区福祉会、高齢者くらしサポート、ささえあいステーションが連携し立ち上げをめざす。

取り組み
実施

【基本目標1】
(2)-2

認知症をテーマに カフェを開催

「家族の介護で悩んでいる人がいるけれどどこまで声をかけたらいいいのか悩む」
地区福祉会役員からの声をきっかけに、
高齢者くらしサポート、
ささえあいステーション、
地区福祉会が連携し、認知症をテーマにカフェを開催(計2回)。



妻を介護している男性の切実な思いを聞き、
今後も定期的を開催していく必要性を共有。

新たな助け合いの仕組み

白島荘の夕食配達 ～ 子育て世帯への支援 ～

地域公益事業として、保護者が病気だったり、家庭の事情で子どもが家事を担っている世帯に夕食弁当(無料)を届ける事業を始めた白島荘。ニーズの掘り起こしが課題だったため、ささえあいステーションから児童相談支援センターなど、各方面に発信。



現在、生活相談窓口が関わっている2家庭(どちらも親が病気の家庭)に対して、毎週お弁当を届けている。

取り組み
実施

【基本目標1】
(3)-3

防災について ～地域と施設の連携～

取り組み
継続

【基本目標1】
(5)-1

防災共有会議の開催

第1回(6月)地域間の連携について

地区防災委員会、地区福祉会、民生委員・児童委員、ささえあいステーションで話し合い、会議メンバーに地区福祉会と民生委員・児童委員が加わることになる。

第2回(10月)地域と施設の連携について

上記地域団体と、校区内の4施設(白島荘、箕面の里、あかつき特養、ラ・アケソニア)、行政を交えて話し合い、以下の課題を共有。

- ①ケアマネやヘルパーが関わっている高齢者は、地域とのつながりがない人が多い。地域から孤立している。
- ②災害時は施設職員も動けるかわからず、マンパワーが必要。
- ③施設職員は、在宅の利用者を、サロン、一声訪問員、民生委員、自治会等の地域につなぐことが必要。
- ④中学生など、子どもたちへ防災の意識付け。

★令和5年度ささえあい推進会議では、防災共有会議のメンバーを増やしていくべきという意見があがっている。

■■■ 萱野北小校区 ■■■

萱野北小校区は人口約 5,500 人で 15 歳未満 10.0%、15～64 歳 57.0%、65 歳以上が 32.9%となっており、少子高齢化が進んでいる。山麓線より北は集合住宅が多く、南は戸建を中心としたエリア。地域運動会の三世交代交流ふれあいレクリエーションや山手公園での如意谷山手まつりなど、地域行事を通じて住民同士が結束している町。その地域コミュニティの結束力を活かし、高齢化を地域で支える取り組みが進められている。

取り組み発展
【基本目標1】
(2)-1

コミュニティカフェ「ささえカフェ」が充実

令和4年度ささえあい推進会議で、「身近なところに集いの場を作ろう」「集いの場をきっかけに本人や世帯が抱える課題をキャッチしよう」との意見があがるも、新たな場の立ち上げは、ボランティア不足のため難しい。

そこで…



既存の活動「ささえカフェ」を充実へ

【充実のポイント】

- ・ R4 までは月 2 回開催 → R5 からは**毎週**開催
- ・ 福祉会の「にこにこ会（いきいきサロン）」と同時開催（第2火曜）
- ・ 趣味の写真・動画の上映会、習い事の発表の場としても活用
- ・ 老人クラブとのコラボで、負担軽減&新たなつながり創出



ささえカフェ

毎週火曜 10～12 時 コミセン大会議室にて開催

地域の方が、お花や果物など持って来てくださることも。そんなときは、「サンキューチケット」をお渡しし、感謝を伝えます。



大会議室のスペースを仕切って、「カフェ」と「カーリンコン」

隣の小会議室で開催されていた老人クラブの「カーリンコン」。準備の大変さと広報に課題があったが、「ささえカフェ」と同時開催することで、老人クラブの負担軽減になり、新たな交流も生まれた。（毎月 2 回、継続して開催中）

老人クラブ会員に「ささえカフェ」のチケットを配布し、参加へのきっかけづくり！

「ささえカフェ」には福祉会や民生委員、自治会の住民が参加。住民が気軽に来られる居場所であると同時に、住民の異変をキャッチする見守りの場にもなっている。

➡ 孤立を感じていた住民が「ささえカフェ」に参加したことで、自治会や老人クラブへの入会につながったり、新たな友人関係が生まれた実際の事例があった。

地区防災委員会が防災意識向上を目指す取り組みを実施

取り組み
実施
【基本目標1】
(5)-1

●「三世代交流ふれあいレクリエーション」で、防災クイズブースを設置

(令和4年度、令和5年度)



地域全体で連携し開催している「三世代交流ふれあいレクリエーション」。令和4年度ささえあい推進会議での「三世代交流ふれあいレクリエーションの中で、ご近所同士が危険箇所など情報共有しよう」との意見から、地区防災委員会がふれあいレクリエーションの実行委員会委員として参加。当日、防災クイズブースを設置し、防災への関心と呼びかけた。

●避難所運営ゲーム（HUG）を地区防災委員会役員と小学校 PTA 役員で実施

HUGとは、Hinanzyo Unei Gameの頭文字をとった、文字通り、避難所運営を机上で模擬体験するゲーム。地区防災委員会役員が、PTA役員と一緒に実施し、避難所運営について知る機会となった。

この他、地区防災委員会では、自治会エリア単位での集会所等を活用した自主防災の仕組みづくり、また以前からの課題である避難所の第二中学校が萱野北小校区からは遠いことについて、小学校も避難所として活用できないかなど検討中。

認知症への理解推進に向けた取り組み

取り組み
検討中
【基本目標3】
(1)-3

令和4年度、道に迷い保護された高齢者の事案が複数回あったことから、如意谷住宅自治会とライオンズマンション箕面自治会が共催で「高齢者への声かけ体験」を開催。その中で、住民が認知症について知る機会が必要だと再認識し、校区全体で認知症理解推進に向けて取り組むことに。



そこで、令和5年度萱野北小校区ささえあい推進会議(R6.2月)は「認知症になっても暮らしやすい如意谷へ」をテーマに掲げて開催。

今後、ささえあい推進会議で出た意見をもとに、具体的な取り組みにつなげていく予定。



令和4年12月に開催した「声かけ体験」の様子

■ ■ ■ 萱野小校区 ■ ■ ■

萱野小校区は人口約 11,000 人で 15 歳未満 14%、15～64 歳 61%、65 歳以上 25%。箕面で 3 番目に古い小学校だが、人口の増加とともに分校を繰り返し、現在は南北に長い校区となっている。坊島・萱野と船場西エリアでは背景や課題が異なる。令和 6 年 3 月に北大阪急行が延伸し、新駅が 2 つできるので今後の環境変化が予想される。

高齢者のつながりづくり

取り組み発展
【基本目標 1】
(2)-1

【交流の場づくり】いきいきサロンだけでなく、コミュニティカフェが定着
「からいけカフェ」(週 1 回)、「くすのきカフェ」(月 2 回)

令和 5 年度～「からいけカフェ」でカフェランチ(年 3 回)スタート

【気になる人の見守り】

- ・ボランティア部会が 4 班に分かれて、「気になる人」と「空き家」を見守っている。
- ・困っていることをどこに連絡すればいいかを広く周知していく。

【認知症を正しく理解して安心して暮らす】

- ・認知症についての研修や声かけの講習を、小さい地域で開催する。
自治会やマンションでもできないか。



カフェランチ



第二中学校生徒による朝ごはんプロジェクト

取り組み実施
【基本目標 1】
(3)-3

- ・中学校で朝ごはんを食べる「喫茶 in 二中」を、令和 4 年 11 月から検討し、令和 5 年 6 月 8 日(木)に 1 回目を実施。(その後、5 回実施)
- ・生徒たちの企画で、朝ごはんを食べる環境や習慣がない人の朝ごはんを食べるきっかけづくりや、学校に行きたいと思える居場所、新しいつながりをつくることを目指す。
- ・実施に向けて、校長や教諭、地域の大人(福祉会、青少年を守る会)にも相談し、生徒が『萱野みんなのフリーマーケット』(3/19)に参加出店し、資金を得た。
- ・アレルギーや衛生面を考慮して、コンビニおにぎりとインスタント味噌汁で実施。



自治会の交流の場をつくる

取り組み継続
【基本目標 1】
(3)-2

【萱野小校区自治会交流会の開催】(令和 5 年 6 月 25 日)



- ・校区内の自治会を対象に「ゆるやかに交流する場」を目的にする。
- ・各自治会の情報交換、共有を通じて自治会相互につながり、ご近所さんとして仲良くなる地域コミュニティを構築する。
- ・交流会の活動を知ってもらうために「萱野小校区自治会だより」を発行。
(第 1 号、2 号)
- ・第 2 回萱野小校区自治会交流会を令和 5 年 8 月 19 日に開催。

防災を意識した取り組み

取り組み継続
【基本目標1】
(5)-1

【地域ネットワーク会議の充実】(令和5年7月、令和6年3月)

『萱野ネットワーク会議』で地図落とし

災害時の安否確認も見据えた、日頃からの見守りについて話し合う場のネットワーク会議のリニューアルを図るが、災害弱者の把握までできていない。



【防災フェスタの開催】(令和5年6月25日)

地区防災委員会・福祉会共催

くり返し、楽しみながら防災意識を高める

「煙体験」「消火体験」「避難所体験」「防災食体験」

「防災グッズ作成体験」「防災クイズ」

自治会、コミュニティセンター管理運営委員会協力



【実践的な訓練に向けた働きかけ】

- ・「発災からの3日間は自主防災」をイメージした取り組み
- ・地区防災委員会と一緒に考える機会をつくる
(避難所の運営や要配慮者についても考える)



地域の交流の場づくり

取り組み発展
【基本目標1】
(2)-1

【萱野みんなのフリーマーケットの開催】(令和5年3月19日)

- ・出店者と参加者の交流を図るとともに、ゲームなど楽しい世代間交流の場を提供することを目的に小学校体育館でフリーマーケットを開催。
- ・出店は住民の個人参加の他、趣味のグループや小学生と保護者の親子参加、ボランティアグループ、NPO法人、障害者事業所、保育園、第二中学校生徒有志、児童養護施設など様々。



【男の料理教室開催】(令和5年9月18日)

- ・妻が入院した男性から「メシが大変」という声を聞いたことをきっかけに企画。
- ・料理をきっかけに男性が集まり、新たな出会いの場となった。



【萱野ひろばの開催】(令和6年2月23日)

- ・「子どもを楽しませるイベント」ではなく、大人も子どもも一緒に遊ぶイベントを目指して実施。
- ・カレーライスを食べ、ダーツ、けん玉、トランプ、坊主めくり、玉入れ、輪投げ、くじびきなど世代を超えて一緒に楽しめた。
(自治会、コミュニティセンター管理運営委員会協力)

■■■ 北小校区 ■■■

北小学校は昭和20年に開校した歴史ある地域。人口6,000人で15歳未満11%、15～64歳57%、65歳以上32%と高齢化は市内で3位の校区。阪急箕面駅東側に広がる閑静な住宅街で、建替えや代替わりで新しい住宅も見られる。駅近でスーパーや商店、金融機関、公共施設、病院も多い。箕面文化・交流センターの建替えにより、令和6年度、地域の拠点が変わる予定。

高齢者を守れ！

取り組み発展
【基本目標1】
(1)-1、2

【コミュニティカフェの充実】

- ・「サンプラカフェ」（週1回）だけでなく、令和5年7月からは、「ななつぼしカフェ」（月1回）を開設。
- ・「福祉会だより」紹介記事掲載、ポスター掲示だけでなく、敬老事業対象者に『お試し無料券』を配布し、利用を促す。
- ・「サンプラカフェ」で阪大院生のスマホ、PCの使い方相談



【住民向け研修会の開催】



福祉会主催で住民向けの様々なテーマの研修会を開催。多くの方が参加できるようにポスター等で案内。

- 『健診結果の見方』（R4.8）
- 『成年後見制度について』（R5.1）
- 『認知症高齢者等への声かけ体験』（R5.3）
- 『災害に備えて～北小校区に地震・大雨対策～』（R5.8）
- 『認知症研修第4弾』（R6.3）

【よりそい隊事業所（銀行、郵便局、歯科医院など）と福祉専門職の連携】

- ・特殊詐欺に遭った高齢者→被害については警察、銀行が対応。その後は民生委員、高齢者くらしサポートが中心で見守る。
- ・説明がうまく理解できず、困っている高齢者（郵便局、銀行で市役所の手続き等）
→社協職員が駆けつけ、高齢者くらしサポートと共有。
- ・何度も予約を間違える、前回来院したことを覚えていない高齢者（歯科医院）
→高齢者くらしサポートが支援に向けてアプローチ。

子どもとのふれあい（放課後の居場所づくり）

令和4年度ささえあい推進会議(令和4年6月)での意見から、子どもたちが放課後に気軽に行ける場をつくり、小学生と地域の交流の場をつくろうと検討するも、どこが主導して進めるかが難しく、難航していた。

取り組み
検討中
【基本目標1】
(2)-1



令和5年度ささえあい推進会議の中で、「イベントではなく、定期的に地域の大人と子どもが触れ合う機会をつくることは必要」との意見が再度あり、令和6年度は「子どもとのふれあい」をテーマに、具体的な活動に向けて検討していく予定。

ご近所での気にかけて関係づくり

取り組み
継続
【基本目標1】
(1)-2

【ささえあいステーション de ブロック会議】

R3年から始めたブロック会議はR4年度、R5年度も継続。

共有したケースはR4年度：119件→R5年度：132件

- ・高齢者くらしサポートが持ち帰り確認や訪問につながったケース
- ・民生委員が訪問、見守りにつながったケース
- ・「サンプラカフェ」に誘ったケース



【地区敬老事業の訪問について】

75歳以上の敬老事業対象者全員(1,162人)に、福祉会役員・幹事が祝品とともに敬老会の案内を持って個別訪問。今年度は、訪問時に防災を意識した聞き取りを行った。

- ①避難所を知らない人には「北小ではなくメイプルホール」と情報提供。
- ②ハザードマップを知らない人には、「エリア別ハザードマップ(北小校区)」を配布。
- ③救急安心カード未設置で希望される人には、救急安心カードを配布。
- ④自治会未加入は220人と分かり、未加入の人には「情報が入りにくい」「災害時の安否確認」などの課題がある。

令和5年度 高齢者訪問票集計 (対象:1,162人)

| | ①避難所 | | ②ハザードマップ | | ③救急安心カード | | ④自治会加入 | | ⑤敬老会出欠 | |
|-----|------|----|----------|-----|----------|-----|--------|-----|--------|-----|
| | 知ってる | 否 | 知ってる | 否 | 設置 | なし | 加入 | 未 | 出 | 欠 |
| C-1 | 90 | 8 | 62 | 28 | 69 | 21 | 44 | 63 | 25 | 81 |
| C-2 | 116 | 9 | 109 | 12 | 99 | 19 | 83 | 49 | 34 | 90 |
| C-3 | 73 | 5 | 52 | 12 | 82 | 1 | 72 | 16 | 8 | 78 |
| C-4 | 73 | 1 | 71 | 2 | 69 | 7 | 68 | 7 | 9 | 63 |
| C-5 | 104 | 1 | 87 | 2 | 85 | 2 | 88 | 21 | 23 | 78 |
| C-6 | 116 | 4 | 100 | 4 | 107 | 14 | 106 | 14 | 17 | 96 |
| C-7 | 121 | 1 | 103 | 13 | 109 | 14 | 112 | 20 | 18 | 108 |
| C-8 | 126 | 6 | 110 | 20 | 93 | 24 | 118 | 15 | 20 | 95 |
| C-9 | 113 | 7 | 105 | 14 | 104 | 12 | 105 | 15 | 28 | 94 |
| 小計 | 932 | 42 | 799 | 107 | 817 | 114 | 796 | 220 | 182 | 783 |
| 回答数 | 974 | | 906 | | 931 | | 1016 | | 965 | |

【ブロックでの高齢者の見守り】

- ・90歳の昼間独居の女性の見守り声かけを実施
家族の長期出張時にブロック会議のメンバーで声を掛けた。半年間に5日間を2回だったが、顔の見える関係ができ、日頃からの見守りにつながった。

【令和5年度ささえあい推進会議(令和6年1月)で出た意見・アイデア】

◇災害時の安否確認について

- ・「自治会未加入」の捉え方を検討する。
- ・マンション管理組合との連携
- ・避難行動要支援者名簿の活用について話し合う。
- ・災害を意識した見守りができないか。

◇避難所について

避難所について住民が具体的に話し合っ意見をもとめる場が必要。

■■■ 中小校区 ■■■

中小校区は国道 171 号線を挟んで南北に長い校区。人口およそ 10,000 人で 15 歳未満 14.0%、15～64 歳 60.5%、65 歳以上が 25.5%。地域資源は北部に集中しており、南部は集える場が少ない。

中小校区の取り組みとして大きいのは、令和 5 年 1 月、校区内の地域活動者の「地域団体が抱える問題に向き合い、改善のために考える場を持ちたい」という声から始まった、「中小校区まちづくりプロジェクト」。プロジェクトの始動で、令和 5 年度は様々な取り組みが進んだ。ここでは、「いろは食堂」「稲つながり畑」「防災」「子ども服交換会」の 4 つの取り組みを紹介。

「中小校区まちづくりプロジェクト」

校区住民が「中小校区に住んでいてよかった」と思えるような町を目指して、地域団体間のパイプ役として、「人」「イベント」「財源」の問題に向き合い、地域連携をサポートしていくプロジェクト。令和 5 年 1 月からスタートした。

<向き合う課題>

- 「人」 … 充て職が多い、活動の担い手やイベントの人手集め
- 「イベント」 … 同じ目的の行事が複数ある、日程調整が大変、広報の工夫
- 「財源」 … 寄附や補助が得られないか など

<プロジェクトの構成> ※下記団体の代表者で構成

青少年を守る会、地区福祉会、地区防災委員会、コミュニティセンター管理運営委員会、民生委員・児童委員 牧落第三自治会、箕面団地自治会、箕面自治会、稲自治会

… 毎月 1 回、プロジェクト会議を開催し、団体課題の解決を検討

★課題の一つ、「人」（活動の担い手）の問題については…

- ①まずは住民に関心の高いイベントでつながりを作る
→ 令和 5 年度、様々な取り組みを実施
- ②活動に興味がある人や、やってみたい人を活動につなぐ仕組みが作れたら…
→ 令和 5 年度ささえあい推進会議（R6.2 月）で、幅広い参加者とともにアイデア出し

取り組み
継続

【基本目標 3】
(2)-1

世代を超えたみんなの居場所「いろは食堂」オープン

令和 2 年、開設準備委員会を立ち上げたがコロナ禍で中断。令和 5 年度、ようやくコロナが 5 類となり、まちづくりプロジェクトの働きかけのもと検討を再開。改めて「いろは食堂運営委員会」を立ち上げ、令和 5 年 1 2 月、地域の事業所や地域団体、ボランティアの力を結集してオープン。100 食のカレーを多世代に提供した。



コミュニティセンター中小会館で毎月第 3 土曜日に開催中

取り組み
実施

【基本目標 1】
(2)-1

畑でつながる多世代の居場所「稲つながり畑」発進

取り組み
実施
【基本目標1】
(2)-1

「若い世代からお年寄りまで、楽しく触れ合う場所をつくりたい」との声から、まちづくりプロジェクトで検討をスタート。令和4年度のささえあい推進会議で「子ども」をテーマに話し合ったグループでも「畑を活用した地域交流」のアイデアが出ていたことから、そのメンバーとも合流。稲3丁目の畑の所有者の賛同を得、令和5年11月に地区福祉会主催で活動をスタートした。現在は、多世代交流の畑として、子ども、そしてミドル世代から高齢者まで、活動を通じたつながりが広がっている。



避難所に泊ってみよう！「中小学校避難所体験」開催

取り組み
実施
【基本目標1】
(5)-1



中小学校での避難所体験の様子

令和5年8月、地区防災委員会主催で大地震発生を想定した中小学校での避難所体験を開催。

障害者事業所も一緒に参加し、子どもから大人まで200名近くの住民が参加。約40名が実際の宿泊も体験した。クイズも取り入れた避難についての話、夕食に手作りカレーをみんなで食べるなど、楽しみながら災害時の知識や行動を学べる場となった。

地区防災委員会では、能登半島地震被災地支援のためにドキュメンタリー映画のチャリティ上映会も開催。(令和6年3月)

子ども服リユース会の開催

取り組み
実施
【基本目標1】
(3)-3

中小まちづくりプロジェクトが主催となり、子ども服のリユース活動を実施。コミュニティセンター管理運営委員会の広報紙に、子ども服等の提供を呼びかけるチラシを挟み込み、コミュニティセンターに設置した「とりかえっこBOX」に入れていただくよう住民に呼びかけ。集まった服は、子育てサロンやいろは食堂などの機会に交換会を開催。



子ども服等の提供を呼びかけるチラシ

■■■ 箕面小校区 ■■■

箕面小校区は人口約 10,000 人。65 歳以上が約 30%で、独居の高齢者も多い校区。西小路、牧落、百楽荘、桜の 4つの地区で成り立っており、校区全体での活動のほか、地区ごとに様々な地域活動が展開されている。

令和 4 年度～令和 5 年度に進んだ取り組み

* 令和 4 年度、箕面小校区で取り組むテーマを、**地域でつながれる『居場所』づくり** とし、「まずは成功体験をつくる」ことを目標に、さまざまな取り組みを行った。

取り組み①

- 今ある居場所「百楽カフェ」に他団体も関わってもらい、次の展開を目指す



令和 5 年度、子ども会とコラボ開催

- ① 呼び込みや給茶などを子どもが担当
- ② バザーでの会計などを子どもが担当

- 箕面ハイツ集会所で「コミュニティ(認知症)カフェ」を開催(令和 5 年 8 月)

* 認知症が気になる複数の高齢者の情報が、多方面から入ったことをきっかけに、民生委員と福祉会運営委員、高齢者くらしサポートで話し合い、まずは「住民同士が気軽に集える場を」目指してカフェを開催。

* 自治会の協力もあり、「有楽カフェ」と名付けて、定期的に開催していくこととなった。

- ささえあいステーション Café がスタート

(令和 5 年 8 月)

地区福祉会役員が中心となって、ささえあいステーションの開設日に、コミュニティカフェを月 1 回開催。

取り組み②

令和 4 年度

障害者事業所と住民が連携した居場所づくりを検討



- 生活介護支援事業所「和と話」の場所で「ワトワ堂」を主に子ども対象に開催

(令和 5 年 3 月～随時開催)

- ・ 駄菓子、綿菓子、焼き芋
- ・ 薪ストーブ
- ・ ガチャガチャ、ゲーム (コイン落とし)

* 地域住民もチラシの配布や当日のお手伝いなどで参加。



その後の展開

地区福祉会と「和と話」のコラボ

箕面小地区福祉会から「和と話」へ、敬老事業の記念品の熨斗かけと、手紙の準備等の依頼をし、約 1700 人分の作業を行った。

令和5年度ささえあい推進会議では、令和5年度の取り組みを受けて、下記の3つのテーマで検討していくこととなった。

高齢者を中心とした居場所づくり

取り組み
検討中

【基本目標1】
(2)-1

- ・コロナ禍では、集う場の多くが休止し、住民同士の顔を合わせる場が激減したが、徐々に再開するところも出てきた(サンロイヤルコスモ自治会など)。
- ・令和5年度のささえあい推進会議では、住民同士が顔を合わせる機会がもっと欲しいとの声もあり、高齢化率が高い校区であるため、まずは高齢者が気軽に集える場を検討していくこととなった。特に男性は何も目的がないと参加しづらいという意見もあり、「集まる」以外の目的も検討。

<今後の検討課題>

- 認知症(学び)カフェ・・・認知症のかたへの対応の仕方を学んだり、介護経験者や当事者も含めて話をすることで、認知症への理解を深める
- 愛犬家の集い・・・犬の散歩をさせている高齢男性を多く見かける。犬と一緒に来てくれるかも？

障害者事業所との協働

取り組み
発展

【基本目標1】
(3)-1

中学校を卒業すると、障害者住民とはなかなか出会うことがないとの意見も多く、障害者事業所のことを知らない住民もまだまだ多い。まずはお互い顔見知りになることから。

- 令和5年度に行った『福祉会と「和と話」のコラボ』を参考に、校区内の生活介護支援事業所2ヶ所を中心に協働できることを検討していく。
⇒敬老の記念品の熨斗がけなどの作業やその他福祉会や他団体で作業できることなどを検討
- 事業所との協働を通じて、まずは障害者住民と地域住民が顔を合わせる機会をつくる
⇒コミュニティカフェへの参加やお手伝いなど
- 時間をかけて、校区内の障害者市民(グループホーム入居者含む)と地域住民が出会う機会を検討

子どもの居場所づくり

取り組み
検討中

【基本目標1】
(3)-3

- ・箕面小校区は、「地域のこどもは地域で守る」を実践してきた歴史的経過がある。子どもの見守りは他校区に比べると手厚いこともあり、子ども一人一人のニーズに応えたという思いがある住民が多い。
- ・また、経済的に困窮状態にあると思われる世帯や、ヤングケアラーや引きこもりなどの「生きづらさ」を抱えた子どもは少なからずいると予想される。

<今後の展開>

- 「生きづらさ」を抱えた子どもたちが何を求めているのか、何が必要なのかを学ぶ
- 地域で何ができるかを具体的に検討する

■■■ 西小校区 ■■■

西小校区は、大きな集合住宅や団地もあるが、全体的には戸建て住宅が多い。人口約 13,400 人で市内 3 番目。高齢化率は 27.8% に達しており、独居高齢者が 1 番目多い校区である。だが校区全体で見ると子育て世帯も多く、様々な世代が居住している。令和 5 年度は、地域のつながりが広がる、新たな居場所が複数誕生した。

取り組み
実施
【基本目標 1】
(2)-1

楽しく集える居場所「ほっこりカフェ」の開催

「西小校区内に、住むエリアや世代を問わず、誰もが気軽に立ち寄れる集いの場があったらいいな」との思いから、地区福祉会が開催場所や内容を検討。特に集いの場が少ない、校区の東側で開催できる場所を探していたところ、**箕面教会**の場を貸してもらえることに！



●令和 5 年 11 月～
出入り自由で気軽に立ち寄れる居場所
「ほっこりカフェ」が誕生

主催：地区福祉会
開催日時：毎月第 3 金曜日 午後 2 時～4 時

毎回 10 名以上のかたが集まり、時間いっぱいまで話し込まれる様子も。帰る際には、「また会えるのが楽しみ」との声も聞かれている。



子どもが定期的に集まれる居場所の開催

地区福祉会のこども支援部会を中心に、家庭や学校以外で、子どもが安心して過ごせる居場所があればいいなどの思いで、こどもサロン構想が立ち上がる。



●令和 6 年 1 月～
子どもたちがほっとでき、
気軽に行けて楽しく過ごせる居場所
「こどもサロン未来」が誕生

主催：地区福祉会
場所：地域福祉活動拠点「星座ルーム西」
開催日時：毎月第 4 金曜日 午前 12 時～午後 2 時

子どもたちの参加につながりやすいよう、西小サタデースクールの終了に開催することに。昼食の後、子どもたち同士や参加している大人と一緒に遊び、交流を深めている。親子で参加される方も。

★ 令和 5 年 12 月からは、介護付きホーム「そんぽの家箕面」でも子ども食堂を月 1 回開催中。

取り組み
実施
【基本目標 1】
(2)-1



マンション内で住民の交流の場の開催

取り組み
実施
【基本目標1】
(2)-1

【マンション:ネバーランド箕面の取り組み】

住民の高齢化に課題を感じる管理人の、「安心して生活できる環境を住民とつくりたい」との思いをきっかけに、住民同士で話し合い、定期的に住民向けの健康づくりや交流の場を開催することに。



●令和5年6月～ 住民の体操の場を月2回開催

体操の後は、西部高齢者くらしサポートの協力で、認知症、フレイル予防、口腔ケア、減災への工夫等の暮らしのための学習会なども実施中。

シニア講座の開催

取り組み
実施
【基本目標3】
(1)-1

住民の「得意」を活かした講座を開講。
楽しむことで、住民が活動に関わるきっかけづくり。



●令和5年6月～ シニア講座開講 主催:地区福社会
地域福祉活動拠点「星座ルーム西」で下記の講座を開催

| | 講座名 | 開催曜日 |
|---|---------------|-------------------|
| ① | 昭和の懐かしい歌を聴く講座 | 第3水曜日 13:30～15:30 |
| ② | 囲碁を楽しむ講座 | 第2月曜日 13:30～15:30 |
| ③ | ちぎり絵を楽しむ講座 | 第3火曜日 13:30～15:30 |

各回、5名～15名ほどの住民の参加があり。
令和6年度も開講予定。



福社会だよりで多団体の情報共有

取り組み
実施
【基本目標1】
(4)-1

●西小地区福社会だよりの全面リニューアル&全戸配布

地区福社会の、「住民にもっと西小校区の活動を知ってもらい、活動参加につなげたい、そして「ご近所福祉」を進めていきたい」との思いから、地区福社会だよりをリニューアル。

実施した活動の報告だけでなく、これから行われる活動の案内や地域の他団体が実施する校区の活動（地域運動会、西小サタデースクール等）も掲載し、校区内、全戸への配布を行った。

福社会だよりを見て、サロンの参加や新たなボランティアにつながった例もあった。



■■■ 南小校区 ■■■

南小校区は人口 9,917 人、内 65 歳以上が 31.0%、75 歳以上が 17.3%、自治会加入率が箕面市内で 2 位の 61.7%と高く（市内平均 45.6%）、戸建て住宅が中心の地域。

令和 5 年度は、「地域のみんでおしゃべりできる場所がほしい」「困ったときにちょっと相談できる場所をつくろう」という地域の声から、地域団体主体のコミュニティカフェや、事業所と地域ボランティアの協力による取り組みなどがたくさん誕生。その他、災害への備えや高齢者の見守り体制について話し合い中。

取り組み継続
【基本目標1】
(2)-1

誰もが気軽に寄れる集いの場をつくろう

【令和 4 年度ささえあい推進会議(令和 4 年 6 月)での主な意見・アイデア】

地域住民が安心して暮らせる地域に必要なものは…

- ・散歩の途中でだれもが休憩できる場所
- ・近所でおしゃべりできるスペース



- ・令和 4 年 11 月にボランティア団体「ひかりレディース」主体で誕生！ご近所の知り合いがどんどん増えています！

名称…ひかりカフェ

日時…毎週木曜 13:30~15:30

場所…北部・西南高齢者くらしサポート



- ・令和 5 年 1 月に「南小地区福祉会」主体で誕生！買い物の行き帰りにゆっくり座れる場所です！

名称…一番通りみなみカフェ

日時…毎月第 3 水曜 10:00~11:30

場所…北部・西南高齢者くらしサポート

- ・令和 5 年 4 月に「北部・西南高齢者くらしサポート」主体で再開！認知症のかたやその家族、また認知症に関心のあるかたや福祉専門職など、みんなで認知症の理解を深める場所です！

名称…なないろカフェ

日時…毎月最終水曜 14:00~15:30

場所…北部・西南高齢者くらしサポート



- ・令和 5 年 4 月に児童発達支援教室「アフタースクールぴあにしも(桜中央教室)」主体で誕生！子育てや児童発達支援の相談ができるカフェです！

名称…ママカフェ

日時…毎月第 3 水曜 10:30~12:00

場所…アフタースクールぴあにしも桜中央教室

・令和 5 年 4 月にボランティア団体「抹茶カフェ」がコープこうべと協力して誕生！その場で点てた抹茶を味わえます！

名称…抹茶カフェつどい

日時…毎月第 2 金曜 14:00~15:30

場所…コープこうべ箕面店



・令和 6 年度開催予定です！地域住民だれもが参加できる「歌のカフェ」実施に向けて、地域ボランティアと高齢者施設が話し合い中です！（お試し開催では高齢者施設のみさんと楽しく歌うことができました。）

名称…（仮）うたごえ喫茶

日時…（予定）毎月第 4 火曜 14:00~15:30

場所…介護付有料老人ホーム ユトリーム箕面桜ヶ丘

災害への備え

取り組み
検討中

【基本目標 1】
(5)-1

【令和 4 年度ささえあい推進会議(令和 4 年 6 月)での意見・アイデア】

災害時に近所とつながりがない人を取り残さないために必要なことは…

- ・配慮の必要な人や自治会非加入者にも情報を届ける仕組みを考える
- ・近隣の自治会やマンション管理組合が協力して防災の取り組みを検討していく



●エリアごと、地域団体ごと、事業所ごとの課題などを地区防災委員会と共有しながら取り組みを進める

- ・令和 5 年 11 月…自治会、マンション管理組合、民生委員の 6 人で意見交換会実施
- ・令和 6 年 3 月…日頃からのつながりづくりや災害時の課題について意見交換会を実施予定

高齢者の安否確認と見守り

取り組み
検討中

【基本目標 1】
(1)-1

【令和 4 年度ささえあい推進会議(令和 4 年 6 月)での意見・アイデア】

高齢者の孤立や孤独死を減らすために必要なことは…

- ・日頃から近所で積極的に挨拶をする
- ・ゴミ出しの方法などで困っている様子がないか気にかける
- ・訪問時に異変を感じたときは民生委員などに連絡する



●校区内のエリアごとの課題を共有し、課題解決に向けた意見交換を実施していくため調整中

(調整中の呼びかけメンバー: 民生委員・児童委員、福祉会幹事、一声訪問員、高齢者くらしサポート)

■■■ 西南小校区 ■■■

西南小校区は人口約 12,742 人、内 65 歳以上が 3,605 人 (28.3%)、戸建て住宅だけでなく団地や大型マンションが混在するエリア。

令和 5 年度は、多団体がつながり、地域の課題について話し合うため、「地域団体連携会議」が発足。また、「西南地域みんな食堂」や「ふらっとカフェ」など、誰もが参加し活躍できる居場所も誕生した。防災では令和 5 年度、防災訓練を実施した自治会があった。今後ご近所同士で災害時に助け合える地域を目指し、防災意識を高める取り組みについて話し合っていく予定。

西南小校区の地域団体連携会議が発足

取り組み実施
【基本目標 3】
(2)-1

【令和 4 年度ささえあい推進会議(令和 4 年 10 月)での意見・アイデア】

校区内の取り組みを地域に根付かせるためには…

- ・地域団体同士の交流機会を増やす
- ・取り組みを地域住民に届ける仕組みを考える



令和 5 年 6 月「地域団体連携会議」が発足

校区内の地域団体、学校関係者、事業所などが定期的に集まり地域活動の内容を共有

- ・地域情報の発信方法について意見交換
- ・「ささえあい推進会議」で取り上げるテーマについて意見交換
- ・陽だまり保育園参加の「ドコデモ子ども食堂」、西南小 PTA 主催の「大人あいさつ運動」、西南小地区福祉会主催の「グラウンドゴルフ」などの参加協力や呼びかけ協力



- ・西南小地区福祉会が、広報誌やブログで校区の地域活動を発信開始
- ・西南小 PTA が、学校と各家庭の連絡ツール「トモリンクス」で地域活動を発信協力

西南小地区福祉会ブログ
「せやねん せいなん」QRコード



西南地域みんな食堂が誕生

取り組み実施
【基本目標 1】
(2)-1

【令和 4 年度ささえあい推進会議(令和 4 年 10 月)での意見・アイデア】

地域の孤立を防ぐためには…

高齢者、認知症、障害者、不登校、だれもが役割を持てる場所が必要



- NPO 法人あそびりクラブが中心となり、地区福祉会、青少年を守る会、民生委員・児童委員、PTA、ボランティアグループ、事業所などが話し合い



令和 5 年 7 月「西南地域みんな食堂」が誕生

日時…毎月第 4 日曜 10 時～15 時

場所…西南デイサービスあそびりクラブ

子どもや高齢者が毎月
60 人参加!



だれもが気軽に寄れる憩いの場所

取り組み実施
【基本目標1】
(2)-1

【令和4年度ささえあい推進会議(令和4年10月)での意見・アイデア】

つながりのある地域づくりのために必要なことは…
気軽に寄れておしゃべりや休憩できる場所が必要



●令和5年4月「ふらっとカフェ」が誕生

日時…毎週金曜13時～16時

場所…西南生涯学習センター

※ボランティア団体のケンコー会が実施

近所の知り合い
が増えたわ♪



令和6年度は他にも…

- ・西南小地区福祉会がコミュニティカフェを実施予定(準備中)
- ・囲碁・将棋・麻雀などで楽しめる集いの場の実施に向けて話し合い中

災害への備え

取り組み実施
【基本目標1】
(5)-1

【令和4年度ささえあい推進会議(令和4年10月)での意見・アイデア】

災害時にだれも孤立させない地域にしていくためには…

- ・近隣の挨拶を増やし顔の見える関係づくりを進める
- ・子どもや学生が参加しやすい防災訓練の内容を考える



●令和5年8月「防災デイ～半町南公園～」を実施

- ・半町南天荘自治会、西南小地区福祉会、一般社団法人トナリなどが協力して防災訓練を実施
- ・自治会内の高齢者宅に自治会の子どもと民生委員がお出迎え
- ・近隣自治会も含めて50人ほどが参加

「防災訓練だよ、
公園まで一緒に
逃げよう。」



今後の予定…

- ・令和6年3月に自治会、マンション管理組合、民生委員などで意見交換を実施予定
- ・地域住民、地域団体、事業所、地区防災委員会と話し合いながら防災の取り組みを進めていく

■■■ 止々呂美小校区 ■■■

止々呂美小校区は、令和5年3月時点で人口5,854人。農村地域の止々呂美エリアは、人口296人で高齢者世代が中心。平成19年から宅地開発された森町エリアは、人口5,514人で校区人口の95%を占め、子どもや現役世代が中心である。令和4年6月からは、森町で隔週開設しているささえあいステーションの場で、地区福祉会が子育てサロン「森の子のひろば」とコミュニティカフェ「森町カフェ」を開催。そして令和5年4月からは、森町自治会館で毎週「ほっとサロン」を開催しており、住民同士がつながる居場所づくりが進んでいる。

高齢者の居場所「ほっとサロン」を毎週開催

取り組み実施
【基本目標1】
(2)-1

令和5年4月、地区福祉会が森町北や森町中の高齢者同士の交流の場として、高齢者サロンを新たに開設。

【高齢者サロン「ほっとサロン」】

高齢者同士が交流できる集いの場を毎週開設

日時・・・毎週月曜日 10:00～12:00

場所・・・森町自治会館



晴れた日は、桜の木の下でお茶会を開催



森町地区の高齢者の集いの場として、毎回10人程度の参加がある

●「ほっとサロン」で認知症についての学習会を開催予定（令和6年3月）

住民の認知症についての正しい理解を進めるため、北部・西南高齢者くらしサポートが、「認知症サポーター養成講座」を開催予定。

高齢者だけでなく、「家族で認知症について学んでほしい」との思いから、チラシを作成し住民に広く周知した。

今後も、認知症があっても安心して過ごせる地域を目指し、「認知症カフェ」を開催する等、止々呂美地区と森町地区、それぞれの現状やニーズに合わせて検討していく予定。

子ども・子育て世帯の居場所づくり

取り組み
継続
【基本目標1】
(2)-1

●子育てサロン「森の子のひろば」(令和4年6月～)

ささえあいステーション開設日時に合わせて地区福祉会が月2回、子育てサロン「森の子のひろば」を開設。親同士が子育てについての情報交換を行っている。

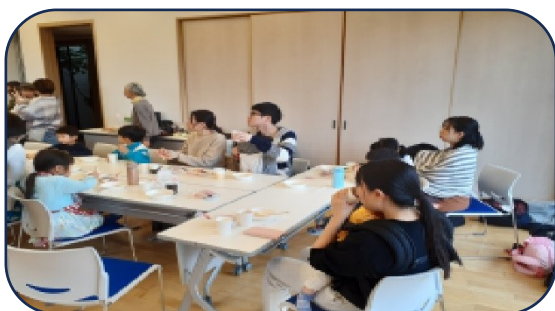
ハロウィンやクリスマスの行事、味噌づくり、餅つきなど楽しいイベントも開催しており、5組から多い時で15組ほどの親子が、毎回到ぎやかに過ごしている。パパやママだけの参加も歓迎の雰囲気、参加者も増えている。

【子育てサロン「森の子のひろば」】

就学前の子どもと保護者が交流できる集いの場

日時・・・毎月第2、第4水曜日 13:00～14:30

場所・・・箕面森町ピースガーデンコミュニティハウス



作りたてのぜんざいは美味しい



ベビーマッサージ教室にパパも参加

●長期休暇中の子どもたちに、学習できる場を提供(箕面森町ピースガーデン自治会管理組合)

子どもたちに集中して勉強できる場を提供するため、令和5年度の夏休みにピースガーデンコミュニティハウスにて、小・中学生の自習室を開設した。

多世代の居場所「森町カフェ」

取り組み
継続
【基本目標1】
(2)-1

●コミュニティカフェ「森町カフェ」(令和4年6月～)

ささえあいステーションの場で、「森の子のひろば」と同時開催している地区福祉会のコミュニティカフェ。誰でも立ち寄り自由だが、子育てサロンの参加者が多く、高齢者等その他の世代は少ない現状。高齢者も参加しやすい場に向けて検討中。

【コミュニティカフェ「森町カフェ」】

誰もが気軽に立ち寄れる集いの場

日時・・・毎月第2、第4水曜日 13:00～14:30

場所・・・箕面森町ピースガーデンコミュニティハウス

